

Technical Information	
文書番号	SYMC-SMS-071010-3
タイトル	Symantec Mail Security Version 7.5.0-23 リリースノート
対象機器	Symantec Mail Security 8200/8300 Series
ソフトウェアバージョン	7.5.0-23
プラットフォーム	-
日付	2007/10/10
参照	-
問合せ先	日商エレクトロニクス株式会社 エンタープライズ事業本部 技術統括部 セキュリティサポートグループ E-mail: symc-support@nissho-ele.co.jp

本書について

Symantec Mail Security 8200/8300 Series (以下 SMS) Version 7.5.0-23 に関する情報が含まれています。

本リリースについて

SMS Version 7.5.0-23 は、従来の Version 5.X のメジャーバージョンアップデートとなります。

リソース

詳細な情報は以下より入手可能です。

<メーカー マニュアル(日本語)>

<http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/enterprise/sms/8300/manuals.html>

<メーカー リリースノート(日本語)>

http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/enterprise/sms/8300/doc/sms_release_notes_75.pdf

<メーカー SMS 8200 Series ナレッジベース(英語)>

http://www.symantec.com/enterprise/support/knowledge_base.jsp?pid=51975

<メーカー SMS 8300 Series ナレッジベース(英語)>

http://www.symantec.com/enterprise/support/knowledge_base.jsp?pid=53991

新機能

Version 7.5.0-23 の主な新機能 (Version 5.X と比較) は以下となります。

- ・ 新「メールフロー」モデル
 - 一つのメッセージに対し、複数の判定を行い、各判定処理モジュール毎にアクションで設定した処理が行われます。
 - アクションの組み合わせの詳細に関しては「管理者ガイド」P.415「処理と判定の組み合わせ」を参照ください。
- ・ 「スキャン不能」レポート機能
 - 「スキャン不可」である理由をレポートします。
- ・ 新アンチスパム技術
 - 新しいイメージスパムを検知できる機能を拡張しました。
 - UPS の監視及び停電時のシャットダウン機能
- ・ インシデント管理の機能強化
 - コンプライアンスポリシー違反であるメッセージをトラッキングする機能で各インシデント毎に全ての変更をトラッキングする履歴が含まれるようになりました。
 - インシデントフォルダに保留という機能が含まれるようになりました。
- ・ 新たな True ファイルタイプのサポート
 - 新たな True ファイルタイプを追加し、コンテンツ識別エンジンを拡張しました。
- ・ 次世代プレミアムコンテンツコントロール
 - プレミアムコンテンツコントロール (PCC) 機能が、バージョン 5 に比べ大幅に拡張されています。(追加ライセンスが必要)
- ・ 統合型インスタントメッセージングプロテクション
 - インスタントメッセージングのスクリーン (日本語版 IM アプリは YAHOO メッセンジャーのみ対応)
 - 弊社では本機能はサポート対象外とさせて頂いておりますので、本機能をご使用頂いた場合のお問い合わせには対応致しかねます。予めご了承の程お願い申し上げます。

- ・ フォールバックエンコード
 - 検疫されたメールの文字コードが識別できなかった場合に、設定したエンコードとみなして処理されます。

(注) 日本語(ISO-2022-JP)に設定される事を推奨させていただきますが検疫から解放できないケースもあります。

変更された機能

Version 7.5.0-23 で変更された機能 (Version 5.X と比較) は以下となります。

- ・ GUI インターフェースの配置が変更されました。
- ・ ホスト名の変更が可能になりました。
- ・ MTA ホスト名にて EHLO の Parameter を変更できるようになりました。
- ・ バックアップファイルを FTP サーバに作成する際にパスが空白ではバックアップが取得できなくなりました。FTP サーバのトップディレクトリにバックアップファイルを作成する場合には「/」(スラッシュ)を入力してください。なお FTP サーバのトップディレクトリ以外のディレクトリにバックアップを作成する場合には最後に「/」(スラッシュ)を付与してください。

追加/修正内容

Version 7.5.0-23 で追加修正された機能 (Version 5.X と比較) は以下となります。

- ・ 「上位のウィルスとワーム」のレポートを作成する際にワームが表示されない問題が修正されました。
- ・ 新しいウィルスフィルタが利用可能、不適切な終了後のサービス開始のアラートメールを設定していると誤って警告メールが送信される問題が修正されました。
- ・ コンプライアンスにて「許可する送信者として処理する」を選択してもアンチスパム処理が行われる問題が修正されました。
- ・ グループポリシーのメンバー設定にワイルドカードが使えるようになりました。
- ・ アクションにて Forward と Delete の組み合わせが使えるようになりました。
- ・ 特定の添付ファイルが実行形式の添付と誤って判定される問題が修正されました。
- ・ 送信者認証を使用している場合の filter hub の安定性を改良しました。
- ・ 注釈機能を使用している場合に実際のエンコードと異なるエンコードで送信される問題が修正されました。

既知の問題/注意事項

現在、Version 7.5.0-23 で確認されている問題は以下となります。

ここに記載の内容以外の問題に関しましてはメーカーのリリースノートをご覧ください。

-
- ・ 証明書群及び中間証明書のインストールをサポートしません。
-
- ・ V7.5 へアップグレード後に電子メールファイアウォールの全ての設定が有効になります。
アップグレード前に V5 にて ポリシー > 送信者グループ 内の有効/無効を確認頂き V7.5 へアップグレード後は スпам > 送信者グループ 内の有効/無効を V5 の設定内容と同一にして頂くようお願いします。
-
- ・ 複数台構成において ScannerOnly の機能を使用して 1 台の ControlCenter で集中管理する構成を弊社が構築していない場合、保守サポートのご提供は致しかねますのでご了承の程お願い申し上げます。
 - 2007 年 10 月 10 日現在、既に上記構成で弊社と保守契約をご締結のお客様は引き続きサポートさせていただきます。
-
- ・ 添付ドキュメント内のキーワードスキャンでフィルタハブが crash する可能性があります。[プロトコル]-[スキャンの設定]のコンテンツ制御設定を無効にすることを推奨します。

<参考:メーカー ナレッジベース>

<http://service1.symantec.com/SUPPORT/ent-gate.nsf/docid/2006111014125463>

-
- ・ アンチウイルスライセンスが無い場合に以下のエラーが出力されます。問題はありませんので、無視してください。
 - 『Cannot perform JLU update: license check failed.』
 - 『License check for service (antivirus_content) failed.』

<参考: メーカー ナレッジベース>

<http://service1.symantec.com/SUPPORT/ent-gate.nsf/docid/2006111407551763>

- ・ Syslog へログを送信した場合にファシリティ local7 のログが重複して出力されます。
-

- ・ 132 日以上の連続稼動にて下記のアラートメールが送信されます。
 - この問題発生時には下記のアラートメールが送信されますが無視してください。
 - 件名: Cron <root@hostname> /opt/Symantec/Brightmail/cli/sbin/watchdog
 - 本文: Please give a smaller interval value
 - この問題発生時は CPU 使用率を誤検知します。
 - 対処方法はハードウェアのリポートになります。
-

-
- ・ ポリシー > 送信者グループの「オープンプロキシの送信者」、「スパマーの疑い」を有効。
「SMTP 接続を拒否する」、「SMTP 接続を遅延する」を選択した場合、拒否や遅延以外の動作になる場合があります。
 - 動作説明経路: MTA1 MTA2 SMS の経路で SMS へメールを送信した場合
 - MTA2のIPアドレスが「オープンプロキシの送信者」、「スパマーの疑い」と判定された場合は拒否、遅延の動作を行います。
 - MTA1のIPアドレスが「オープンプロキシの送信者」、「スパマーの疑い」と判定された場合はメールを一度受信している為に拒否、遅延の動作が出来ずに次の動作になります。
 - 拒否を選択している場合:メールが削除され受信者にメールが届きません
 - 遅延を選択している場合:メールが削除され受信者にメールが届きません、また送信者に対して以下のバウンスメールを送信します。
件名: Returned Mail
本文: Your message could not be delivered for the following reasons.
This message has been blocked.
-

アップグレードについて

Software Updates (ソフトウェアの更新) にて入手/適用可能です。

別紙、アップグレード手順 (SYMC-SMS-071010-1) 及びメーカーのナレッジベースを参照ください。

<参考: アップグレード手順 (SYMC-SMS-0701010-1)>

<http://www.nissho-ele.co.jp/product/symantec/news/v75up.pdf>

<参考: メーカー ナレッジベース>

<http://service1.symantec.com/SUPPORT/ent-brightmailkb.nsf/docid/2006110911420963>

<アップグレードの注意事項>

- ・ アップデート前にバックアップファイルを作成してください。
- ・ アップデート前に検疫内のメールをすべて削除することを推奨します。バックアップファイルの作成時間、アップグレード後の DB マイグレーション時間を短縮できます。
- ・ アップデート前に Inbound 及び Outbound MTA を停止後、各 Queue を Flush してください。
- ・ アップデート開始から完了まで、再起動やシャットダウンをしないでください。
- ・ Version 5 から Version 7.5 へアップデートの場合、約 265MB のダウンロード時間を考慮してください。

ダウングレードについて

CD リストア以外にございません。

<参考: メーカー ナレッジベース>

<http://service1.symantec.com/SUPPORT/ent-brightmailkb.nsf/docid/2005040414130363>

改訂履歴

2007/10/10 初版

2007/10/22 第二版

2007/10/29 第三版

以上